



利用案内

入館料 無料

開館時間 午前 9:30 ~ 午後 5:00
[入館は午後 4:30まで]

休館日 毎週月曜日[国民の祝日の場合はその翌日]
国民の祝日の翌日[ただし土・日にあたる場合は開館]
年末年始[12月28日~1月4日]

交通案内

JR東北本線白河駅、JR東北新幹線新白河駅から
福島交通バス「まほろん・市民球場・白坂行き」
まほろんバス停下車

JRバス「棚倉行き」南湖公園下車徒歩 25分
東北自動車道白河 I.C.から車で 20分



お問い合わせは

財団法人 福島県文化振興事業団
福島県文化財センター白河館
〒961-0835 福島県白河市白坂字一里段86
TEL 0248-21-0700 FAX 0248-21-1075
URL <http://www.mahoron.fks.ed.jp>
E-mail office@mahoron.fks.ed.jp

FIELD MUSEUM

見て・触れて・考え・学ぶ —— 体験型フィールドミュージアム

まほろん

福島県文化財センター●白河館

要 覧



F I E L D M U S E U M

基本理念

福島県文化財センター白河館「まほろん」は、「遺跡から学ぶ自然と人間のかかわり」をメインテーマとして、「見て・触れて・考える・学ぶ」体験型フィールドミュージアムを目指しています。遺跡とその出土品を通して先人たちが営んできた生活の証を見つめ直すことにより、個性豊かな地域の歴史・文化と自然の関わりを認識し、地域に対する誇りや、文化財に対する愛着を育むことに寄与することを目的としています。

事業経過

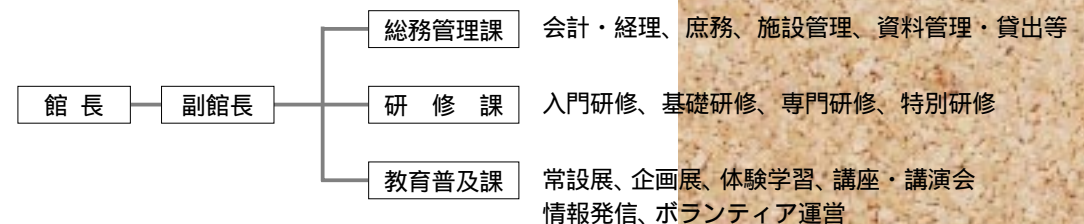
- 平成6年度 福島県文化財保護審議会が「福島県文化財センター(仮称)整備基本構想報告書」を答申
- 平成8年度 「福島県文化財センター白河館(仮称)基本計画」策定
- 平成9年度 基本設計
- 平成10年度 実施設計・用地取得・造成工事
- 平成11年度 造成工事・建築工事
施設愛称を一般公募し「まほろん」に決定
- 平成12年度 建築工事・環境整備工事・野外展示工事・屋内展示工事
福島県文化財センター白河館条例及び施行規則制定
- 平成13年度 屋内展示工事
- 平成13年4月1日 福島県より財団法人福島県文化振興事業団に管理運営委託
- 平成13年7月15日 福島県文化財センター白河館開館

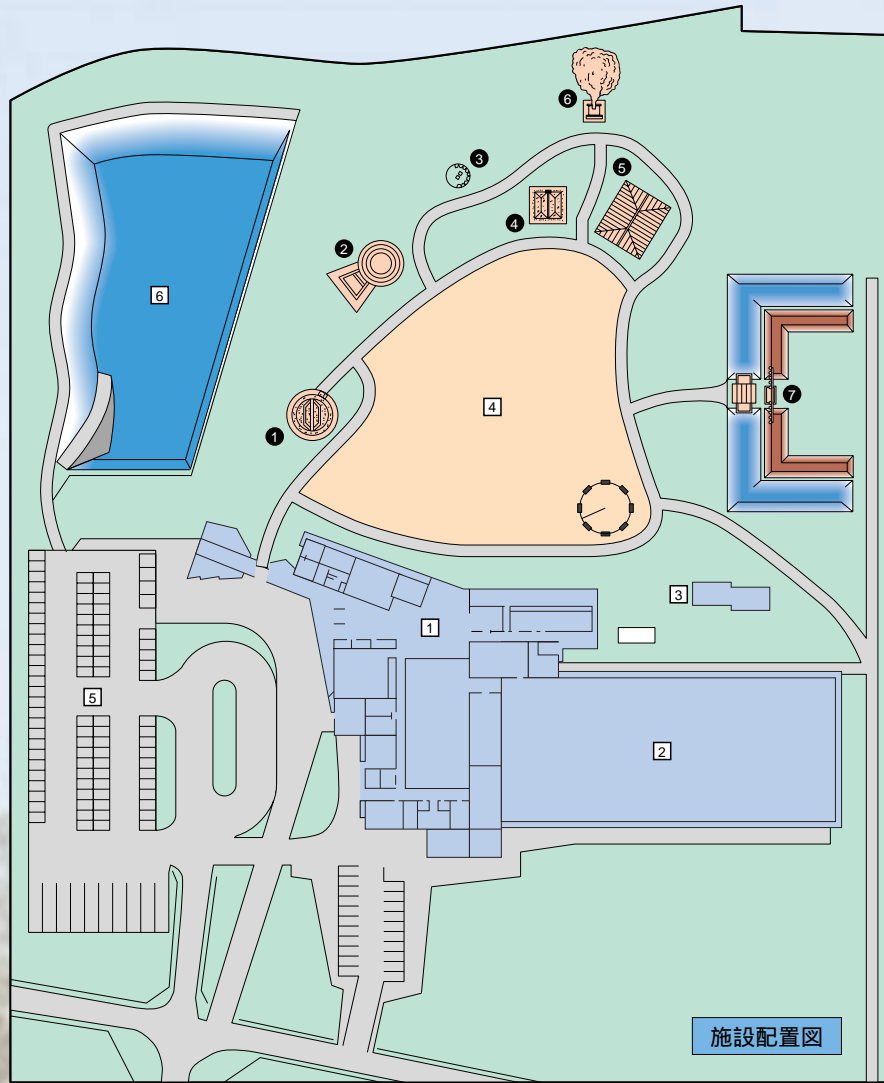


機能

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の収蔵・保管や活用
埋蔵文化財の管理と貸出・閲覧・見学 文化財に関する情報発信
文化財に関するデータベースの作成・公開 文化財の展示と教育普及
常設展示、野外展示、特別展示、講座・講演会 | <ul style="list-style-type: none"> 文化財に親しむ体験学習
体験学習講座、野外体験学習 文化財を担当する市町村職員等の研修
発掘調査・報告書作成の実技研修
文化財保護・考古学等の専門知識に関する研修 |
|--|--|

組織





施設案内

- 1 本館棟
- 2 収蔵庫棟
- 3 体験学習館
- 4 体験広場
- 5 一般駐車場
- 6 調整池

野外展示

- ① 縄文時代の家
- ② 前方後円墳
- ③ お休み所
- ④ 奈良時代の家
- ⑤ 奈良時代の米倉
- ⑥ 平安時代の製鉄炉
- ⑦ 室町時代の館

建物案内



プロムナードギャラリー

施設概要

敷地面積 51,800㎡
延床面積 本館棟 2,400㎡
 常設展示室(510㎡)、特別展示室(126㎡)、特別収蔵庫(104㎡)、講堂(80席)、研修室(51㎡)、実習室(61㎡)、体験活動室(75㎡)、陶芸窯室、観覧・相談コーナー等
 収蔵庫棟 3,000㎡
 一般収蔵庫(2,761㎡)
 荷解室等
 体験学習館 93㎡

施設構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、一部木造、地上1階

駐車場 一般駐車場91台(身障者用4台) 大型車駐車場10台
 臨時駐車場40台 職員駐車場21台

駐輪場 28台

愛称とシンボルマーク

愛称の「まほろん」は、優れた良いところを意味する「まほろば」とあこがれを満ちた意味の「ロマン」を重ね合わせた言葉で、「歴史へのあこがれを満ちたすくれた良いところ」を意味しています。シンボルマークは、人の顔と縄文土器をモチーフに構成し、上部の折れ線は原始・古代からのメッセージと情報発信を意味し、色彩は自然と人間と文化財の関わりを表現しています。



MAHORON
 Fukushima Cultural Property Centre,
 Shirakawa Branch

まほろん

福島県文化財センター ● 白河館

「まほろん」では、福島県教育委員会が発掘調査した遺跡の出土品と、調査写真・図面等の記録を一括して収蔵しています。さらに、保存処理を施した木質遺物・金属製遺物等は、温湿度を一定に管理した特別収蔵庫で保管しています。これらの収蔵資料は、館内での展示で公開するほか体験学習や研修等にも活用されます。また、貸出・閲覧・見学等を通して広く文化財を知ってもらう機会を設けています。



一般収蔵庫の土器



特別収蔵庫



一般収蔵庫

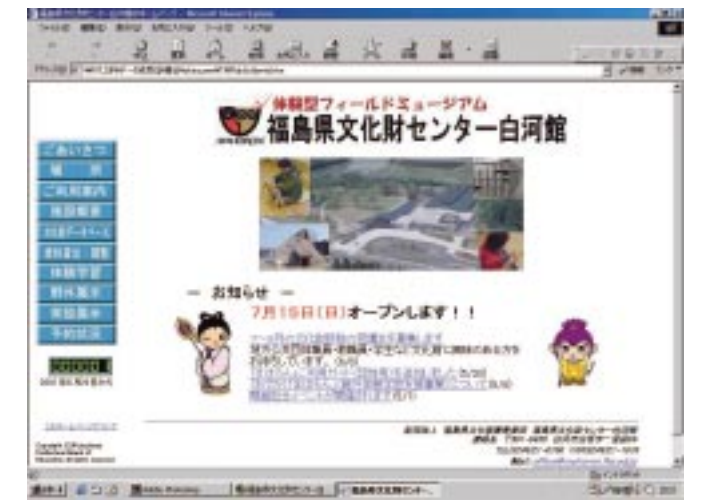


閲覧コーナーのパソコン

まほろんでは、インターネットを利用した情報の発信事業を行っています。福島市の「福島県教育センター」とインターネット回線で接続され、「福島県文化振興事業団」の広域ネットワークが構築されています。情報の内容は、施設案内の他に福島県内の遺跡や収蔵資料の検索システムが含まれており、内部のサーバー群から直接発信されています。



情報発信に利用しているサーバー群



ホームページ画面



暮らしのうつりかわり・縄文時代



暮らしのうつりかわり・奈良平安時代



特別展示室

特別展示室では、企画展や収蔵資料展を開催します。企画展は、県内の遺跡調査の最新成果を集めた速報展、県内外の指定文化財等による特別展、新たに指定された文化財等による展示会を行います。さらに、企画展に合わせ、講師を招いての講演会も開催します。このほか、「まほろん」に収蔵されている多くの出土品を紹介する収蔵資料展も行われます。



「遺跡から学ぶ自然と人間のかかわり」をテーマに、県内の遺跡から出土した土器や石器等を使い、時代ごとの食卓や台所を復元展示しています。道具のコーナーでは実際の出土品から使われていた当時の姿をできる限り忠実に復元し、石や木、鉄で作った道具の作り方と使い方を紹介するとともに、直接手にとって見るすることができます。展示室から収蔵庫の様子も見るすることができます。映像やIT機器を使って興味や理解が深められるよう配慮しています。また、一般の方々にも研究発表の場を設けて地域の歴史や文化財への愛着を育み、さまざまな形で文化財とふれあうことができます。



めぐみの森



暮らしをささえた道具たち



さまざまな復元品

野外展示は、「まほろん」の大きな特色のひとつです。「体験広場」を囲むように「縄文時代の家」や白河地方の豪族の「前方後円墳」「奈良時代の家」「米倉」「平安時代の製鉄炉」「室町時代の館」が復元展示されています。来館者は、見学するだけでなく、これらの展示を活用した昔の生活のさまざまな体験学習に参加することもできます。



縄文時代の家



前方後円墳



奈良時代の家と役所の米倉



平安時代の製鉄炉



室町時代の館



縄文時代の家づくり



体験活動室



体験学習館

「まほろん」では、さまざまな古代の生活が体験できます。体験学習館や体験広場を使って、「土器作り」等の体験学習のイベントが開催されます。館内の体験活動室では、「石器作り」・「アンギン編み」・「火おこし」・「時代衣装の試着」等の古代の技術を、職員の指導のもと常時体験できます。また、学校等での体験学習授業に対して支援を行う「おでかけまほろん」も県内各地で開催します。



石斧で木を切る



古墳の土を盛る

県内自治体や団体等で埋蔵文化財を担当する職員を対象に、館内施設あるいは発掘調査現場を利用して、発掘調査技術や調査報告書作成等の研修を行います。受講者のレベルに応じて「入門研修」「基礎研修」「専門研修」等のコースが用意されています。また、学校教育に埋蔵文化財を活用しようとする教職員等を対象に、「特別研修」のメニューも用意されます。



発掘調査での研修



講堂

「まほろん」では、展示解説・体験学習・資料整理等の広い分野でボランティアが館の事業に参加しています。ボランティアによる活動は、歴史学習の楽しさや文化財保護の重要性を広く県民に知ってもらうためにも大切な役割を担っています。そのボランティア活動を支援するため、館内でのボランティア研修会を実施するほか、外部で行われる研修会等にも職員とボランティアと一緒に参加します。



講演会



ボランティア研修